

単元名 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。
(2) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えたり、表現の効果を考えたりすることができる。
(3) 登場人物の相互関係を描写を基に捉え、感想を伝え合おうとする。

標準的な展開例

05010103_001

【教材名】なまえつけてよ

(P. 17～P. 31)

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|--|---|
| <p>1 「なまえつけてよ」を読み、学習の見通しをもつ。 ★登場人物同士の関わりについて読み取り、感想を伝え合おう。 ○題名やリード文から物語を想像する。</p> <p>○「なまえつけてよ」を読み、感想を書く。</p> <p>○単元のねらいをつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>2 登場人物の関係や心情の変化に着目して物語を読む。 ○「春花」と「勇太」の会話や行動から心情を想像する。</p> <p>○二人の互いに対する心情の変化と関わりの変化についてまとめる。</p> <p>○物語の最初と最後で、題名から受ける印象の変化について考える。</p> <p>○今後の二人の関係について想像する。</p> <p>3 物語を読んだ感想をまとめ、伝え合う。 ○物語を読んだ感想や自分の考えをまとめ、交流する。</p> <p>○考えが広まったり深まったりしたことをまとめる。</p> <p>4 学習を振り返り、物語の読み広げ方について知る。 ○学習を振り返る。</p> <p>○教科書(P. 30)「この本読もう」を読み、物語の読み広げ方について知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 教科書(P. 17)を見せ、自由に話の内容を想像させる。 朗読CDやデジタル教科書の朗読音声を聞かせてもよい。 二人の心情や登場人物同士の関係を中心に書かせる。 「人物の関わり合い」を視点に読むことを理解させる。 二人の気持ちを日にちごとに考えさせることで、登場人物の心情を捉えやすくさせる。 二人の関わり合いの変化から、心情の変化を読み取らせる。 題名には、作者の特別な意味が込められていることを押さえる。 【評】物語を読む活動を通して、心情を捉える「思考・判断・表現」を評価する。 二人の人物像を基に考えさせる。 【評】叙述に着目して読む活動を通して、語句と語句との関係を理解する「知識・技能」を評価する。 教科書(P. 28～29)の感想を伝える例を参考に感想を書かせる。 【評】感想を交流する活動を通して、考えを伝え合おうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 交流を通して、自分の考えがどのように変わったか振り返らせる。 教科書(P. 30)「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。 本の選び方や読書記録の付け方を紹介する。 図書館に本を探しに行く活動を取り入れるのもよい。 |

【 備 考 】